

# 昭和37年度例会

例会には第1部と第2部とがあります。

## 第1部 一般研究発表

第2部と同じ日に行なわれます。希望者は講演題目、要旨、所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して  
東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎 あて申し込むこと。

## 第2部 選定題目講演会

次の日程に従って行なわれます。講演申込と詳細の照会はそれぞれの受持委員にして下さい。

主 題	会期	申 込 締 切 日	受 持 委 員
山の気象	6月	4/30日	高層課：大井
乱流	6月	4/30日	測器課：清水
高層気象	7月	5/31日	高層課：大井
低気圧	7月	5/31日	予報課：石原
気象学史と気象教育	8月	6/30日	研究所：松本
生気候	9月		研究所：渡辺
大気汚染	9月		研究所：神山
気象災害	10月		研究所：渡辺
風のシンポジウム	11月		測器課：清水
台風	11月		予報課：石原
気象統計	11月		研究所：松本
			研究所：渡辺
			長期予報：朝倉

主 題	会期	申 込 締 切 日	受 持 委 員
	(38年)		
太陽活動と放射	1月		長期予報：朝倉
気象電気	1月		研究所：今井
気候	1月		長期予報：朝倉
長期予報	2月		長期予報：朝倉
レーダー気象	2月		研究所：今井
観測と測器	2月		測器課：清水
メソ気象	3月		研究所：松本
対流雲	3月		研究所：松本
航空気象	3月		研究所：今井
			研究所：渡辺
			東京航空：上松

## 6月の例会

### 乱 流

会期：昭和37年6月15日（金）13時30分より

会場：気象庁第1会議室

研究発表

- 高橋喜彦，工藤知子（気研物理）：おもに台風実験のための超微気圧差計の試作
- 高橋喜彦，工藤知子（気研物理）：余部橋梁（山陰本線）に対する局地風の地形模型風洞実験
- 塩谷正雄（鉄道技研）：都市効外の風速の垂直分布と気温傾度の関係（続）
- 竹内清秀（気象庁測器）：地表付近における風向変動
- 井上栄一（農技研）：接地気層乱流構造の乱子模型
- 横山長之（気象庁測候）：接地気層の乱流特徴量の鉛直分布について
- 坂上治郎（お茶の水大）：農技研のイモチ菌胞子空中飛散量観測値の解析
- 坂上治郎（お茶の水大）：Windscale 事故における放射能拡散の解析

### 特別講演

竹内清秀（気象庁測器）：アメリカの大気乱流研究について見聞したこと。

### 第6回山の気象シンポジウム

会期：昭和37年6月9日（土）13時より

会場：気象庁第1会議室

### 講 演

- 鳥羽裕子（日本女子大）：春の雨飾山の気象
- 金子新之（昭和三岳会）：春の毛勝・剣縦走の気象
- 長茂田茂雄（富士重工）：冬の塩見岳の気象
- 理大気象部：夏の立山の気象
- 山本三郎（船津測候所）：富士山の気象（5）
- 高橋 博（地質調査所）：精密高度計（2）
- 大井正一（気象庁高層）：富士山の気圧変動度
- 大井正一（気象庁高層）：冬の吾妻山の気象
- 有住直介（気象庁予報）：上層天気図の利用法

### 映 画

第三次南極越冬の記録（岩波映画）

### 懇親会